

第5学年 算数科学習指導案

日 時 平成30年11月8日(木)

児 童 男子16名 女子9名 計25名

指導者 藤沢 春江

1 単元名 単位量あたりの大きさ「比べ方を考えよう(1)」(東京書籍5年下)

2 単元の目標

◎平均の意味を理解し、それをを用いることができる。

◎異種の2量の割合としてとらえられる数量について、比べることの意味や比べ方、表し方を理解し、それをを用いることができる。

3 本時の指導(9/13)

(1) 目標

○「人口密度」の意味とその求め方を理解することができる。

(2) 具体の評価規準

評価の観点	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
【数量や図形についての知識・理解】 人口密度の意味とその求め方を理解している。	既習と関連付けて、1km ² 当たりの人数を求めてこみ具合を比べることができる。	前時のウサギ小屋の話をもとに、単位が変わっても同じやり方でできることに気付かせる。

(3) 研究主題との関わり

① 「伝え合う」活動を行う場面と工夫

イ 解決方法や答えを見通す場面

見通しの段階で、自分の考えや解決の見通しを持てるよう、ペアで「伝え合い」を行う。問題文を読んで使えそうな方法や気づいたことを交流させる。

エ 考えを交流し、練り合う場面

学級全体で考え方の類似点や相違点、疑問点などについて「伝え合い」を行う。図や数、式の関連等を問うことで、理解を深めさせたい。

② 「伝え合う」活動の手立て

伝え合いの仕方として、自分の考えを話すだけではなく、友達の見解と関連させながら発言するようになりたい。

(4) 展開

段階	学習内容と活動「予想される児童の反応」	指導上の留意点 ◆研究主題との関わり◇評価							
導 入	1 問題を把握する。 北海道と沖縄は、どちらがこんでいますか。	<ul style="list-style-type: none"> こみ具合を調べるには、人口だけではなく、面積も関係することを確認する。 単位に注意させる。 							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>面積 (km²)</th> <th>人口 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>83457</td> <td>546</td> </tr> <tr> <td>沖縄県</td> <td>2277</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>			面積 (km ²)	人口 (万人)	北海道	83457	546	沖縄県
	面積 (km ²)	人口 (万人)							
北海道	83457	546							
沖縄県	2277	145							
5 分	2 学習課題を立てる。 面積と人口からこみ具合を調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 面積で比べたり、人口で比べたりしてどちらがこんでいるか、およその検討をつける。 前時のウサギ小屋のこみ具合の学習をもとに考えさせる。 							

	3 学習の見直しをもつ。 「1 km ² あたりの面積で考えます。」	◆解決方法や答えを見通すための「伝え合い」①イ
展 開	4 自力解決をする 「1 km ² あたりの人口で考えます。」 人口÷面積 5 考えを伝え合い、解決する。 ○「1 km ² あたりの人口で考えます。」 ㊦ 5 4 6 0 0 0 0 ÷ 8 3 4 5 7 = 6 5 1 km ² あたり 65 人 ㊧ 1 4 5 0 0 0 0 ÷ 2 2 7 7 = 6 4 0 1 km ² あたり 640 人 答え 人口が多いほうがこんでいるから沖縄県がこんでいる。 単位面積当たりの人口を「人口密度」ということを知る。 人口密度=人口÷面積 6 本時のまとめをする。 国や都道府県の人のこみ具合は、人口密度で表します。	・机間巡視をしながら、図や言葉などを用いてノートに考えを書かせる。 ・数が大きすぎて、方向性が見いだせない子には、まず、簡単な数で考えさせる。 ・グループや全体の場でできるだけ全員が話す機会を持つようにする。 ◆考えを交流し、練り合う「伝え合い」①エ
3 5 分	7 定着問題を解く。 日本と広島県の人口密度を調べてみよう。 ㊨ 128440000 ÷ 378000 = 339,78 1 km ² あたり約 340 人 ㊩ 2880000 ÷ 8480 = 339,62 1 km ² あたり約 340 人 答え 日本と広島県の人口密度はほとんど同じ。	【数量や図形についての知識・理解】 人口密度の意味とその求め方を理解している。(ノート・観察) ・単位量あたりの大きさは、どちらの単位で計算したのも認めつつ、人口密度の概念を教える。
終 末 5分	8 振り返りをする。	・どのようにして分かったか、友達の考えのよさなどについて、振り返り発表させる。

(5) 板書計画

㊦北海道と沖縄は、どちらがこんでいますか。	㊦面積と人口からこみ具合を調べよう。 「1 km ² あたりの人口で考える。」 ㊦ 5 4 6 0 0 0 0 ÷ 8 3 4 5 7 = 6 5 1 km ² あたり 65 人 ㊧ 1 4 5 0 0 0 0 ÷ 2 2 7 7 = 6 4 0 1 km ² あたり 640 人 答え 人口が多いほうがこんでいるから沖縄県がこんでいる。 単位面積当たりの人口を「人口密度」という。 人口密度=人口÷面積	㊨国や都道府県の人のこみ具合は、人口密度で表します。 p 1 4 ㊩ ㊨ 128440000 ÷ 378000 = 339,78 1 km ² あたり約 340 人 ㊩ 2880000 ÷ 8480 = 339,62 1 km ² あたり約 340 人 答え 日本と広島県の人口密度はほとんど同じ。
-----------------------	---	---

	面積 (km ²)	人口 (万人)
北海道	8 3 4 5 7	5 4 6
沖縄県	2 2 7 7	1 4 5

面積は 40 倍 人口は 4 倍